

来週の「売り物」記事はこれ

2013年5月17日号 毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

「どん底」からの復活 野口みずき再び世界へ

朝刊 19日（日）



12日の仙台ハーフマラソンで優勝した野口みずき（シスメックス）＝写真。公式戦Vは5年ぶりのことです。8月開幕の陸上世界選手権（モスクワ）への出場も決まっています。世界選手権の出場は、銀メダルを獲得した03年パリ大会以来10年ぶりのことです。「足が壊れるまで走りたい」と



話していた野口も、今年7月で35歳。04年アテネ五輪女子マラソンで頂点を極めながら、その後は度重なるけがとリハビリの連続。どん底を味わっても、走り続けるのはなぜか——。指導者やリハビリを支えた医療関係者、かつてのチームメート、そして盟友の高橋尚子さんらの証言を交えつつ、彼女の原動力に迫ります

日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待ください。

インサイド

「五輪舞台を求めて～IOC理事会に臨む8競技」

21日から5回



東京が招致を目指している2020年夏季五輪。国際オリンピック委員会（IOC）は29日にロシアで理事会を開き、実施競技の残り1枠について、候補の8競技から3競技程度に絞り込みます。伝統競技のレスリングは消えてしまうのか、ソフトボール・野球は復活に望みをつなぐのか、スカッシュなど新スポーツの動向は——。注目の理事会を前に、歴史や取り組みなどを踏まえ、各競技の現状を5回にわたってレポートします。

転ばないための体操

くらしナビ面 21日（火）

高齢になり、転びやすくなったと感じている方はいませんか。そんなあなたに、リハビリの専門医が「転ばなくなる体操」をお教えます。ポイントは頭と体を同時に使い、注意力を「鍛える」こと。例えば、右手で二拍子、左手で三拍子を同時に刻む▽足踏みしながら、足し算や引き算などをする▽人と会話をしながら歩く——など、誰でもどこでもできる簡単なトレーニングです。転倒は寝たきりの原因になる場合もあり、軽視できません。高齢者はもちろん、40代から始めれば効果的といわれています。



スマホ対応 家計簿アプリ くらしナビ面 23 日 (木)



家計のやりくりに役立つ家計簿。でも、せっかく始めたのに、長続きせず三日坊主で終わった人も多いのではないのでしょうか。最近はスマートフォン対応の家計簿アプリが数多く登場し、いつでも気軽に入力できる便利さから初心者にも人気です。レシートをスマートフォンで撮影すると、データを読み取って入力してくれるものや、面倒なことが苦手な人向けの操作が簡単なタイプもあり、機能もさまざまです。上手に使いこなして、家計を賢く管理しましょう。

「脊髄の病気で車椅子になりながら頑張る 3 人の母」

新総合面 21 日 (火) 朝刊から

病を抱えながら前向きに生きる人たちのドラマを描く連載「生きる物語」では「車椅子のビッグママ」シリーズが始まります。先天性な脊髄の病気で下半身不随となり車椅子での生活を余儀なくされている東京都在住の安藤朱美さん (59)。持ち前の明るさで 3 人の子供を育てながら、IT 企業や理化学研究所でバリバリ働いてきました。最近は孫とボーリングも楽しむという安藤さんの人生を紹介します。



女性向けドリンク剤いろいろ くらしナビ面 26 日 (日)



一昔前まで、栄養ドリンク剤は男性が主な購買層でしたが、最近は女性向けの商品が相次いで発売されています。味や香りを工夫し、女性も飲みやすい口当たりにしたり、疲労回復効果だけでなく、肌の悩みなど美容・健康にこだわったりした商品も登場。仕事や家事などでお疲れの女性たちをターゲットにした、最近の栄養ドリンク剤事情を紹介します。

続報真相

過ぎたるは及ばざるがごとし!? アベノパフォーマンス

夕刊特集ワイド 24 日 (金)

長島茂雄さんと松井秀喜さんの国民栄誉賞授賞式で審判を務めたとおもったら、南こうせつさんのコンサートに飛び入り参加し一曲披露。果ては戦車に乗って大はしゃぎ——安倍晋三首相=写真=が小泉純一郎元首相もびっくりのメディアを意識したパフォーマンスを繰り広げている。どのような思惑が背後にあるのか。果たして支持率アップに役立っているのか。派手なパフォーマンスにごまかされずに検証する。



田植機に乗って田植えをする安倍晋三首相